

評価者	防災安全部長	服部 計利
評価者	都市整備部長	樋田 浩一

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	危機管理対策
目標とすべきまちの姿	武力攻撃事態やテロなどあらゆる危機事象を想定した体制が整備されており、市民の生命・財産は安心して守られている状況になっています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	22.4%	平成30年度(2018年度)	25.5%	平成29年度(2017年度)	22.8%
	平成28年度(2016年度)	22.7%	平成27年度(2015年度)	21.5%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.9%	1.0%	0.6%
ちょうどよい	1.3%	35.7%	1.6%
効果不十分	1.4%	3.7%	24.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.1%	1.2%	0.2%
ちょうどよい	1.2%	35.5%	1.5%
効果不十分	2.3%	4.1%	22.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.9%	0.9%	0.0%
ちょうどよい	0.5%	41.8%	2.5%
効果不十分	2.1%	3.0%	21.3%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.2%	1.8%	0.4%
ちょうどよい	0.7%	39.4%	2.0%
効果不十分	0.9%	2.5%	24.2%

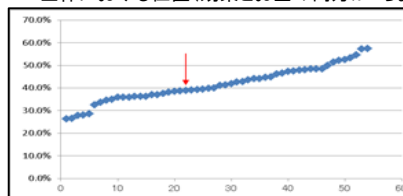
仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	0.9%	0.4%	0.1%
	ちょうどよい	1.3%	38.9%	1.4%
	効果不十分	2.4%	3.9%	23.0%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	35.2%	32.5%	4.3%	28.0%
平成30年度(2018年度)	30.9%	35.4%	4.1%	29.6%
平成29年度(2017年度)	33.2%	37.1%	2.3%	27.4%
平成28年度(2016年度)	33.2%	37.8%	1.4%	27.5%
平成27年度(2015年度)	34.2%	35.9%	3.0%	26.9%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

◎防災安全部	
①	鎌倉市国民保護計画、鎌倉市緊急事態対策計画の改定作業を行い、内容の充実を図るとともに、期限切れとなる災害従事職員用の備蓄食料の更新を行う等体制の整備を図る。(防安-01)
②	地震災害時業務継続計画の実効性向上と内容の充実を図るため、大規模地震を想定した災害対策本部図上訓練を行う。(防安-01)
③	さまざまな危機管理事象に応じた対策の一環として、引き続き、職員や市民の危機管理意識を醸成する講座等を開催する。(防安-01)
◎都市整備部	
①	学校給食の食材等の放射性物質の測定を行い、安心・安全な市民生活の確保に努める。(都整-45)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

◎防災安全部	
①②③:	市民の生命・財産を守るために武力攻撃事態やテロなどあらゆる危機事象を想定した危機管理体制を整備するとともに、その実効性を高めるため、各種訓練や講座等を実施するもの(防安-01)
◎都市整備部	
①	学校給食の食材等の放射性物質の測定を行うことは、安全・安心な市民生活の確保に寄与する。(都整-45)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

整理番号	評価対象事業名 事業名	決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
		令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
防安-01	危機管理推進事業	5,926	4,624	3.0	3.0	無	b	B
都整-45	放射性物質測定事業	4,960	3,008	0.5	0.5	無	b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】	
◎防災安全部	
①	市の機構改革等を踏まえて、鎌倉市国民保護計画及び鎌倉市緊急事態対策計画の改定を行い、内容の充実を図るとともに、期限切れとなった災害従事職員用の備蓄食糧の更新を行った。(防安-01)
②	地震災害時業務継続計画の実効性向上と内容の充実を図るため、大規模地震を想定した災害対策本部図上訓練を実施した。(防安-01)
③	さまざまな危機管理事象に備えた対策を推進するため、主に市民を対象とした危機管理講座を実施した。(防安-01)
◎都市整備部	
	学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。(都整-45)
【実施できなかった事業とその理由等】	

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

◎防災安全部	
効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>	
<p>①機構改革や訓練等の成果を反映するため、鎌倉市国民保護計画を改定し、内容の充実を図ったことから、妥当性及び有効性について適切と評価した。(防安-01)</p> <p>②地震災害時業務継続計画の実効性向上と内容の充実を図るため、大規模地震を想定した災害対策本部図上訓練を実施し、十分な成果が得られたことから、効率性、妥当性及び有効性について適切と評価した。(防安-01)</p> <p>③主に市民を対象とした危機管理講座を実施し、各々の危機管理意識の向上が図られたことから、効率性、妥当性及び公平性について適切と評価した。(防安-01)</p> <p>以上のことで、市民の生命・財産を守るための実効性が高まり、目標とすべきまちの姿へ着実に進んでいるものとする。</p>	
◎都市整備部	
効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>	
<p>本事業を効率的に実施するために、今後も適正な人員配置と予算措置が必要になる。また、機器の導入から7年以上が経過しており、今後、機器の修繕費等が増加する見込みである。(都整-45)</p>	

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	防安-01	事業名	危機管理推進事業								
指標の内容	危機管理に関する訓練等の実施状況						単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
各種訓練や講座を実施することで、危機管理意識の向上が図れるため。	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0				
	実績値	2.0	2.0	3.0	4.0	3.0	2.0				
	達成率	66.7%	66.7%	100.0%	133.3%	100.0%	66.7%				